



日本の
ひなた
宮崎県

中部教育事務所だより「絆」 11月号

令和4年11月11日（金）



命を大切にす教育の充実に向けて・・・

各学校におかれましては、いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題に、日々対応いただいていることに感謝申し上げます。そのような中、10月28日付の朝刊等において、文部科学省が実施した「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」について、「不登校過去最多」などの見出しで記事が掲載されました。

今月号は、「命を大切にす教育の充実」に向け、2つの視点からお話をしたいと思います。



SSW(スクール・ソーシャル・ワーカー)・SC(スクールカウンセラー)との連携について

各学校では、諸課題の解決に向け、SSWやSCを積極的に活用した取組を進めていただいております。教育事務所で毎月実施しているSSW連絡協議会では、「生徒指導上の課題が解決に向かっている事例」として、次のような共通点が報告されています。

- ① 生徒指導上の課題について校内で**共通理解**され、校内の対策委員会を中心とした**組織的な取組**を進めることができている。
- ② 不登校児童生徒に対する支援（家庭訪問等）が、学級担任やSSWを含め、**複数で計画的に実施**することができている。
- ③ 学校とSSW・SCとの間で十分に**情報共有**がなされ、**同じ方針で動く**ことができている。



学校における具体的な取組について

「命を大切にす教育の充実」に向けて、具体的に次のような取組を進めていただくようお願いいたします。

- ◇取組1 全児童生徒を対象とした教育相談の実施
- ◇取組2 「SOSの出し方に関する教育」の実施
- ◇取組3 児童生徒理解に向けた教職員研修の実施
- ◇取組4 道徳や学級活動・全校集会等で「命の大切さ」について考える週間の設定

長期休業明けに児童生徒の事故や自殺等、命に関わる諸問題が増加する傾向にあります。いじめや不登校、事件や事故等生徒指導上の諸課題の未然防止につながる組織的・計画的な取組をお願いします。



問合せ先：中部教育事務所
(担当:河野)

TEL (0985) 44-3322 Fax (0985) 44-3330
代表アドレス chubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp

中部教育事務所は、各学校のマネジメント力を高め、チーム学校としての教育力向上を支援します。